

性奴隷へと身を堕とした王女が
キモデブ中年オヤジに……

敗戦の姫を犯しまくる!!

「……お、お前さん……」
この男の言葉から吐き出された
精液が口内に充満し、喉へと流れ落ちる
その温度がこの男の体内で生み出され
たものだと思えるほど熱い。
熱い精液が喉を通り、胸へと届く……
私の体を内から犯されているような
そんな錯覚を覚えた……

これまでの人生で
感じたことのない
脳が焼き切れる
ような快感……

「……お前さん……」
ハッハッハッハ!!
便所王女になって
しまったなあ!!
なかなか使い心地が
良いじゃないか

おしっこが
私の子宮の中に
熱い! 気持ち悪い!!
気持ち悪い!!

スレイブ・セルナ

＝性●隷に堕ちた姫君＝

星歴193年――

急速に勢力を増したジルグ帝国は
周辺国家を次々と侵略し
男は労働奴隷や兵士として
見目の良い女は
性奴隷として捕えていた

そんな中
ジルグ帝国西方に位置する大国
であるオレリア王国は
姫騎士セレナを筆頭に帝国の
侵攻に抵抗していた

しかし抵抗虚しく
オレリア王国は陥落寸前まで
追い詰められてしまう





誰よりも剣の才に
恵まれたセレナは
その力を戦場で遺憾なく
発揮する

獅子奮迅の活躍で
戦場を駆け巡る…
一人 また一人と帝国兵は
その剣才の前に倒れていった



しかし…



為すすべなく
オレリア王国は滅んだ——
王族はセレナを除き
全て処刑され セレナは
性奴隷として捕らえられた…

帝国の奴隷となった者は
隷属の呪術刻印が魂に
刻み込まれる——
こうなれば最後死ぬまでただの
傀儡と成り果てる

そして性奴隷セレナの
オークションが始まった

帝国の貴族や商人が集う
劇場でセレナはその肌を
晒していた
呪印によって彼女が
命令を拒絶する事は
出来ない……

さあお待ちせしました!!
いよいよ本日の
メインイベントです!!

愚かにも帝国に
歯向かった
オレリア王国!!

その姫君であらせられる
セレナ・ルク・オレリア殿下
が本日最後の商品です!!

呪印を刻み込んだ後に1週間もの間
媚薬水槽に付け置きしましたので
その感度は劇的に増幅しております!!
少し乳房を揉んだだけでも
御覧の通りでございます!!

また 非常に強力な騎士
でもありますので どのような扱い
であつても全く問題ございません!!

便器にするも良し
サンドバッグにするも良し
はたまた魔物に犯させるも良し!!
好きなようにお使い頂けます!!

さあそれでは
入札開始です!!

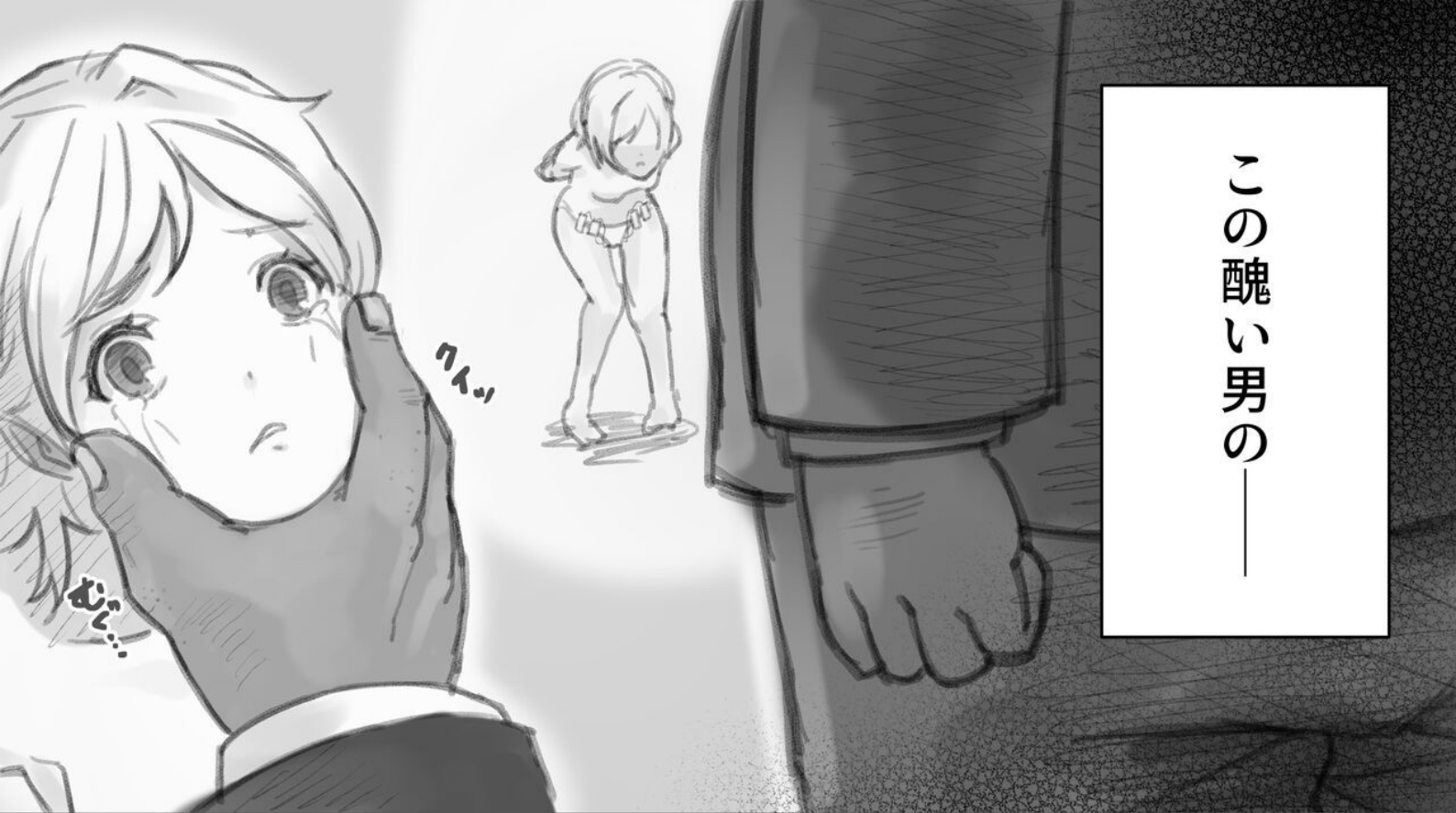


それから唯々
惨めだった
私に付けられた値段を
聞きながら股間の刺激に
耐え切れずイキ続ける……



司会者の手が尻肉を揉み上げ
私の体がビクンと跳ねる
膣内のローターは
容赦なく私を責め続け
愛液が止め処なく溢れた

この醜い男の――



性奴隷になって
しまったんだ



アチャア...

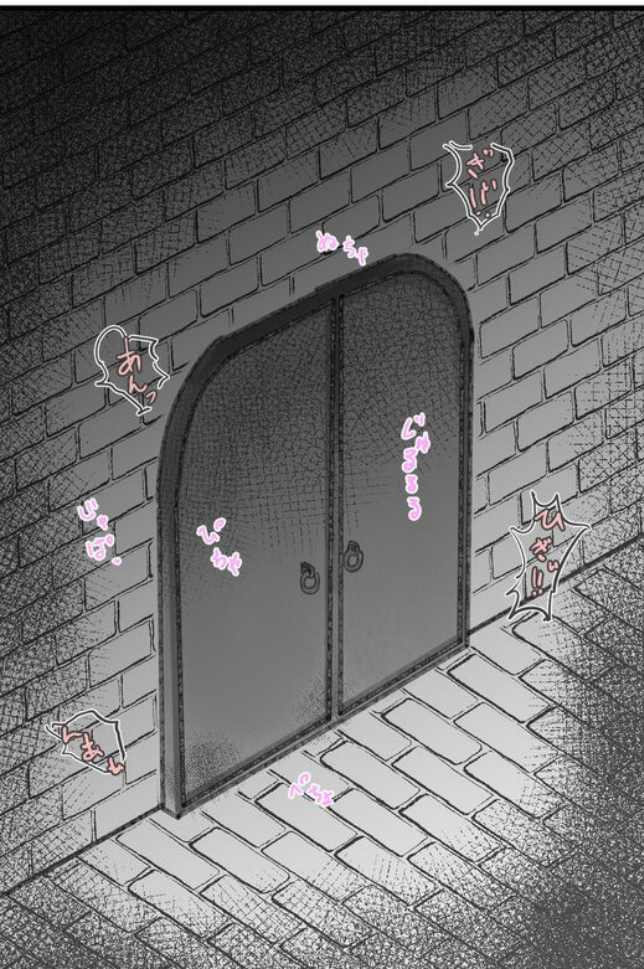
じわじわ

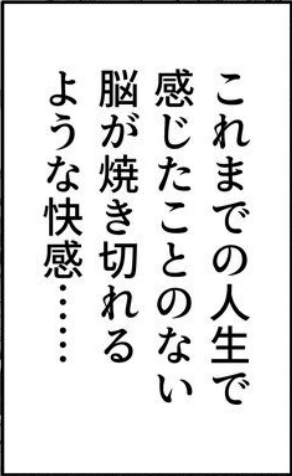
ワ
ワ
ワ

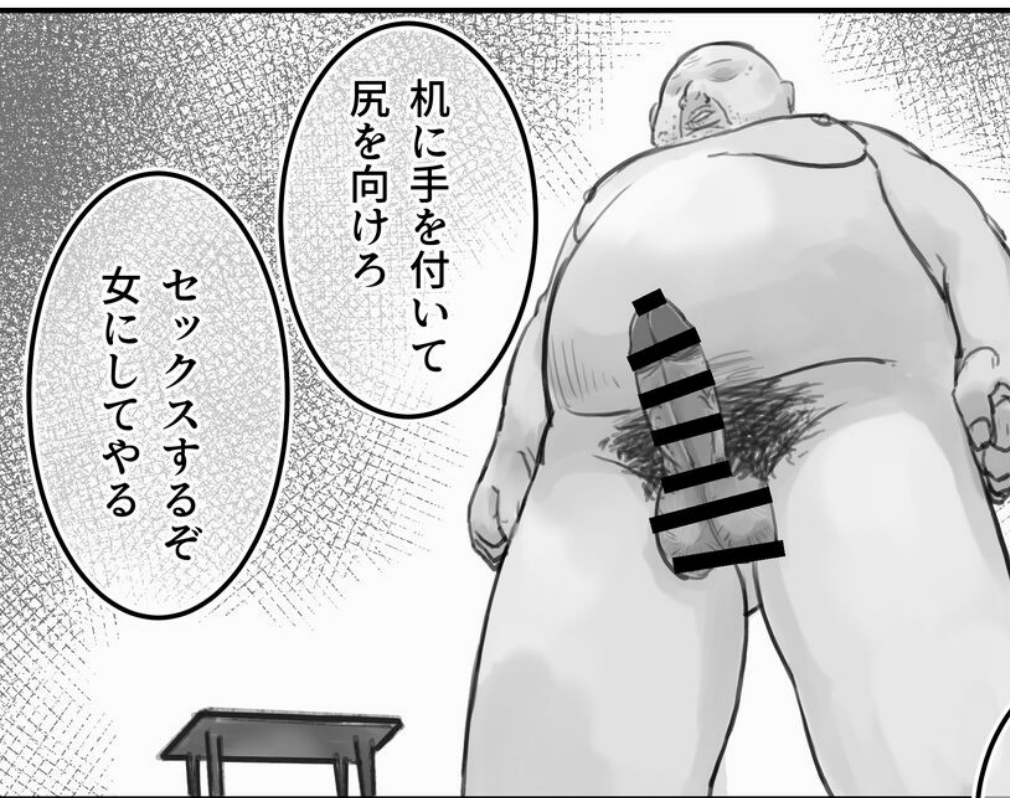
私に使われた媚薬は性奴隷用の
物であり 一度肉体に馴染むと
一生元には戻らないのだそうだ

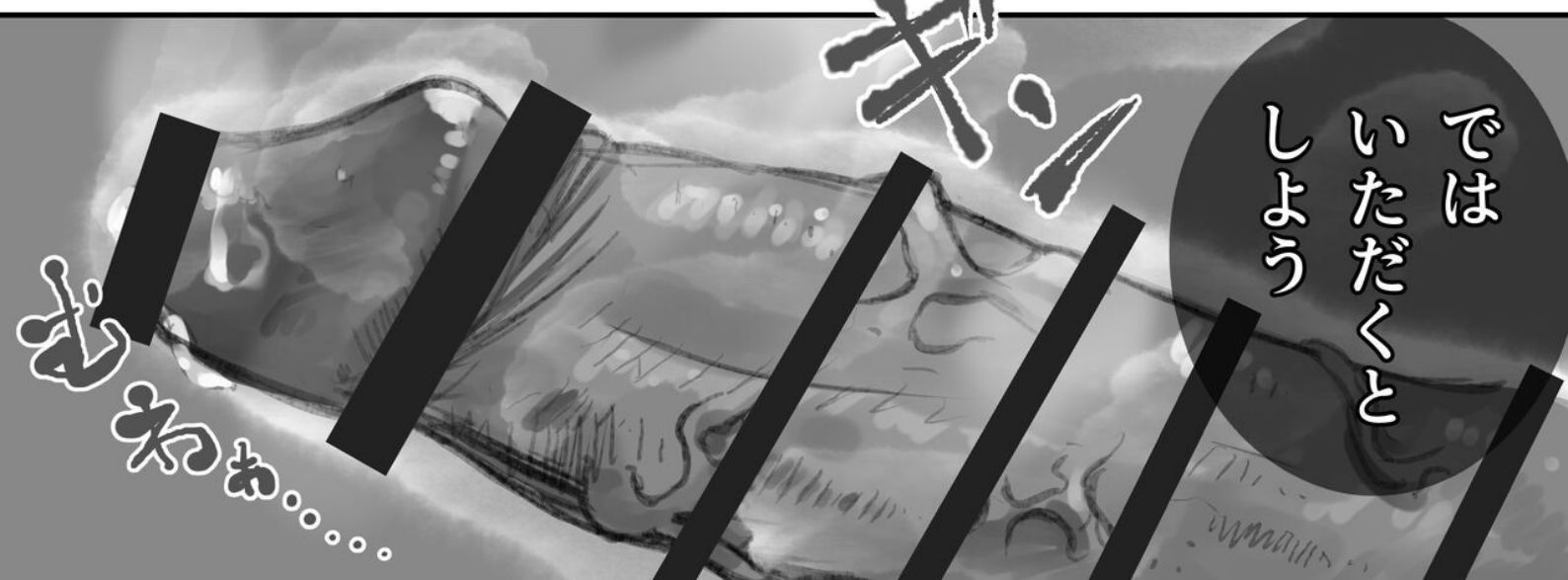
呪印による束縛と 媚薬による
恒久的な発情と感度増幅…
私はもうただ犯されるだけの
人間になってしまっていた

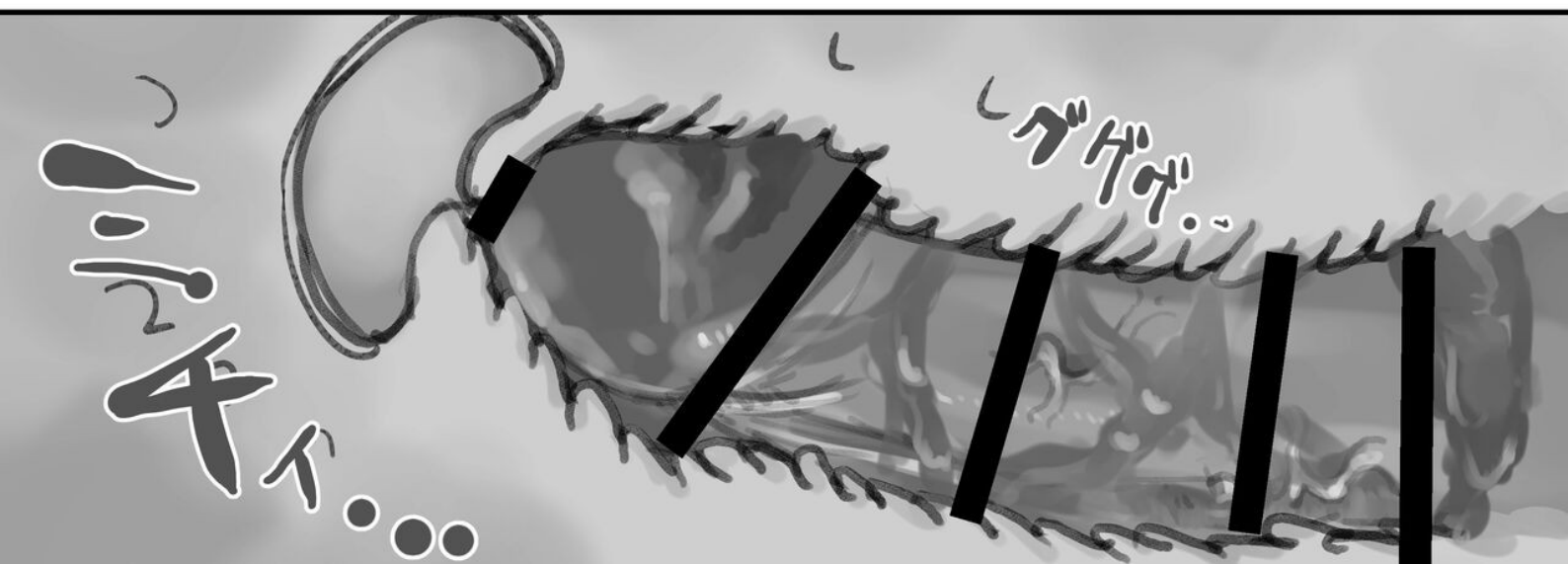
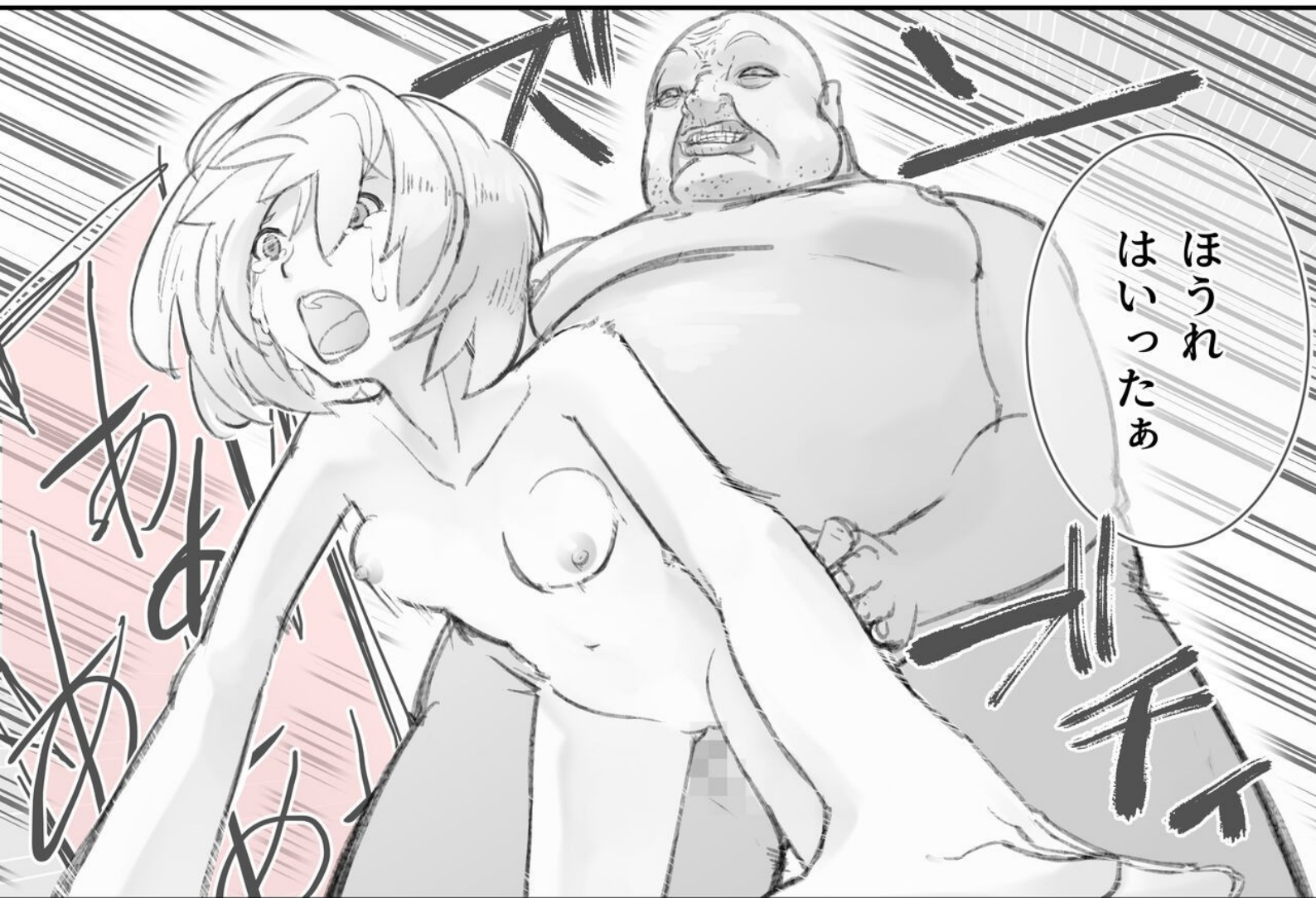
私はこれから
どうなるのだろうか…
考えたところで無駄なだけだった















だすぞ

おーい

子宮で飲み込め

頭がっ白

じゅぽっ

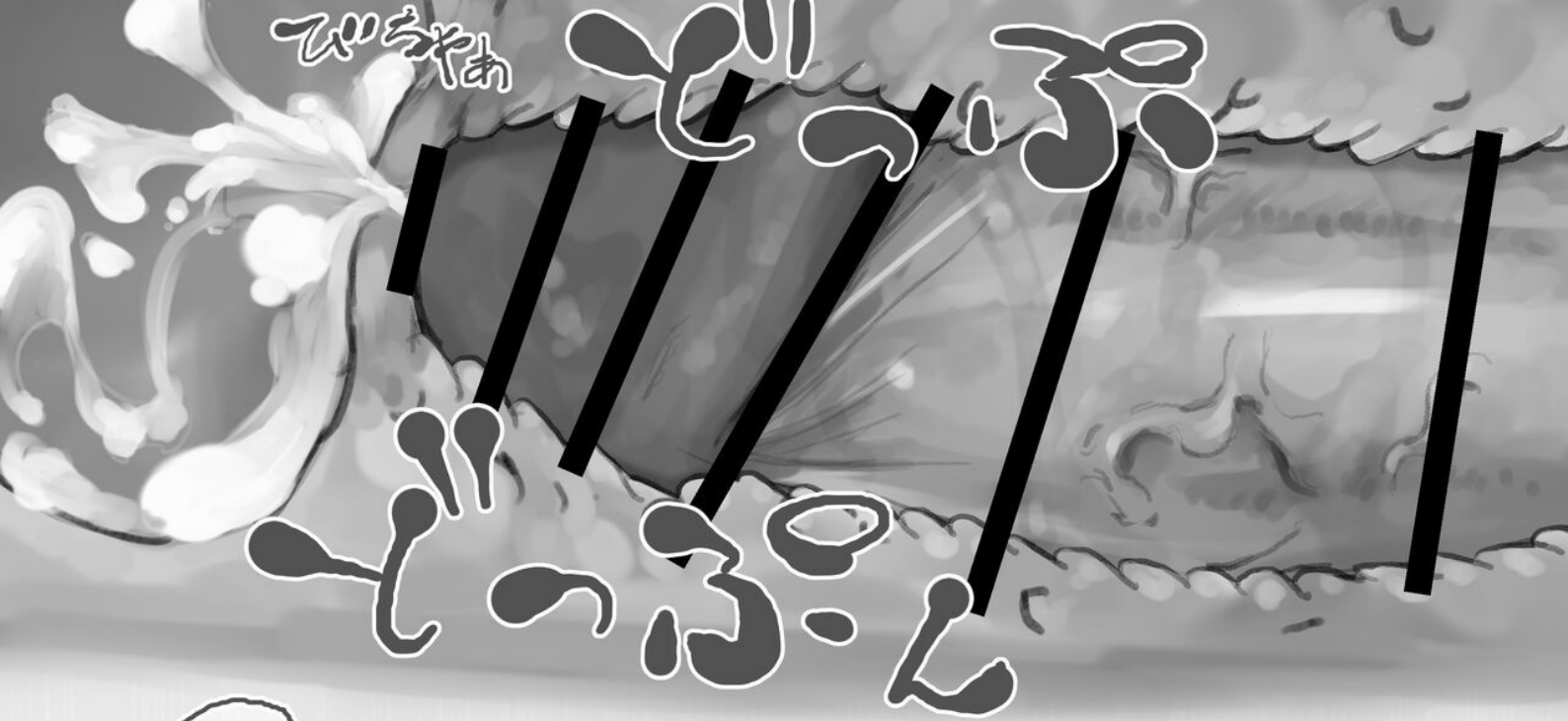
じゅぽっ

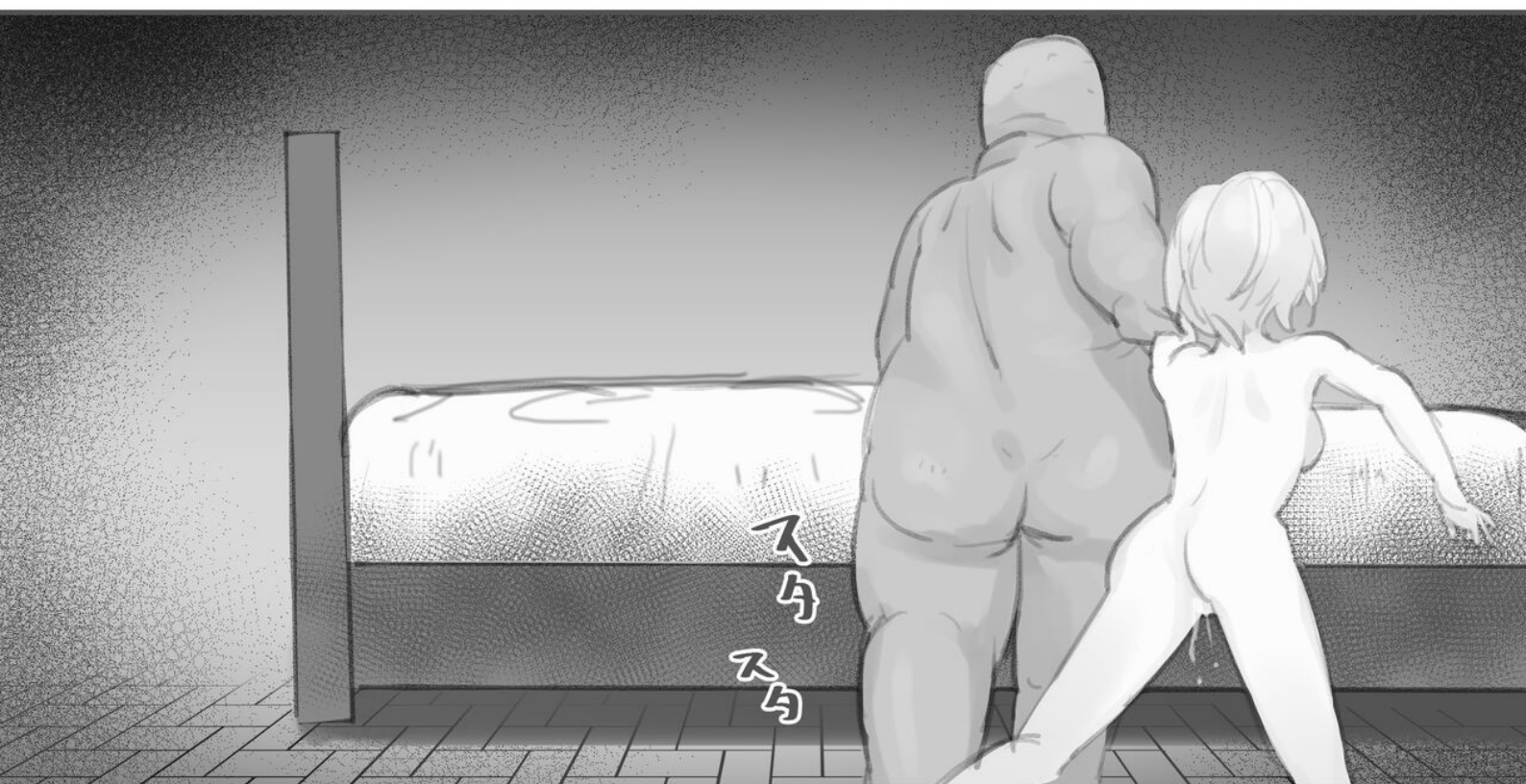
じゅぽっ

じゅぽっ

バッ

バッ









苦い：気持ち悪い：
この男の陰茎から吐き出された
精液が口内に充満し 喉へと流れ落ちる
その温度がこの男の体内で生み出され
たものだとして強く感じさせられる
熱い精液が喉を通り腹へと届く：
私の体を内側から犯されているような
そんな錯覚を覚えた：



あ

ん

ぢゃぽ

ぢゃぽ

ぢゃぽ

ぢゃぽ

ぢゃ

ぢゃ

るるる

ぢゃ

ぢゃぽ

もみ

いん

あん

あ

ぢゃ

ぢゃ

んはあ

べろおん

ぢゃ

ぐん

んあ!!

ひあ!!

ふう

しゅる。

股開け

ぽか...

くく...







射精したら
もよおしてきたなあ…
このまま中で済みますか

うそっ！
やだ!! 待って!!

ジロ...

じゅぽぽぽぽ

ハッハッハッハ!!
便所姫になって
しまったなあ!!
なかなか使い心地が
良いじゃないか

おしっこが
私の子宮の中につ
熱い! 気持ち悪い!!
気持ち悪い!!

うあああ
めめ ああ

あぁ...

げん

うう...

げん

げん

精液と尿が膣からあふれて
シーツを汚す
どうしようもなく惨めで気持ち悪いのに
感じてしまっていた：
嫌が応にも性奴隷としての自分を
認識させられてしまう

きつと死ぬまでずっと
こんな日々が続くのだろう：
私に唯一出来るのは 早く心が
壊れてくれるよう願う事
だけだった

びん

びん

ドロ...

あゝ
すっきりした

じわ...

びん

あ...

これから毎日
セックス
しようなあ

セレナ姫♡

うう...

セクン♡

END...